

令和5年度逆井小教育活動のアンケート（学校評価アンケート）の結果について

I 目的

- (1) 学校が自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校が自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表により、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

II 実施日

児童 12/8（金）～18日（月）
 保護者 12/8（金）～18日（月）
 教職員 12/8（金）～18日（月）

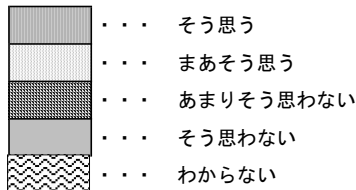
III 回収率

児童 297名/301名 98.7%
 保護者 178名/301名 59.1%

IV 回答と結果について

- ・ 質問に対しての回答は「そう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」の5択とし、児童は質問に対して、保護者は「お子さんは」もしくは「学校は」など、教職員は「児童は」もしくは「私は」などと主語を置き換えた質問に回答する。

- ・ 別紙のグラフは回答の割合を示すものとし、グラフの色のパターンは以下のとおりである。

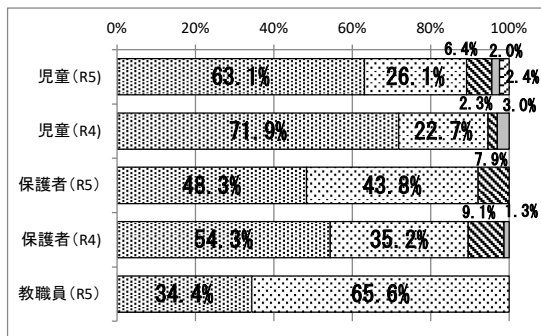


- ・ 「そう思う」「まあそう思う」を肯定的な回答、「あまりそう思わない」「思わない」を否定的な回答として考察する。

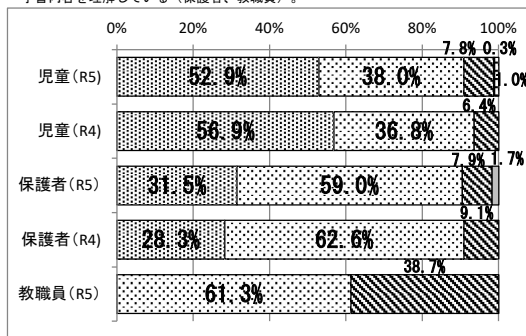
V 結果

学校教育目標「自分で考え、判断し、行動する逆井っ子の育成」

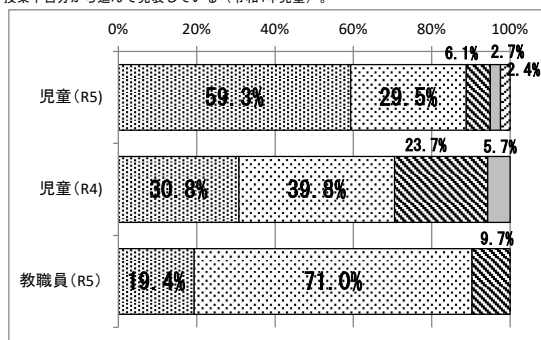
1. 学校に行くのは楽しい。



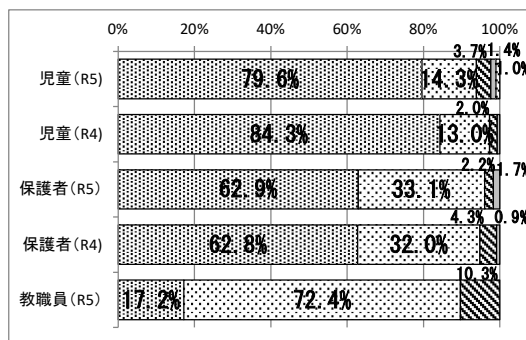
2. 学校の勉強はよくわかる（児童）。 学習内容を理解している（保護者、教職員）。



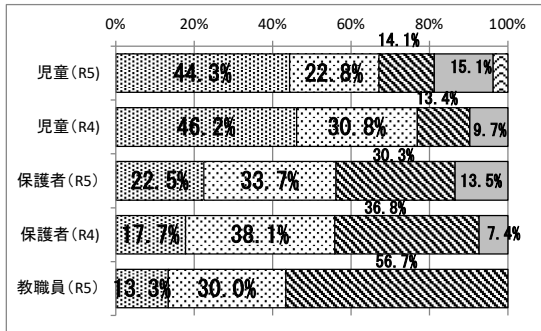
3. 授業に意欲的に参加している（令和5年児童、教職員）。 授業中自分から進んで発表している（令和4年児童）。



4. 宿題は必ずやっている。



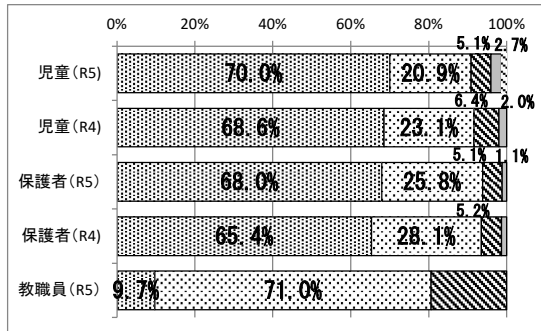
5. 家では宿題以外の勉強もしている（児童）。
家庭学習（自主学習）の習慣が身についている（保護者、教職員）。



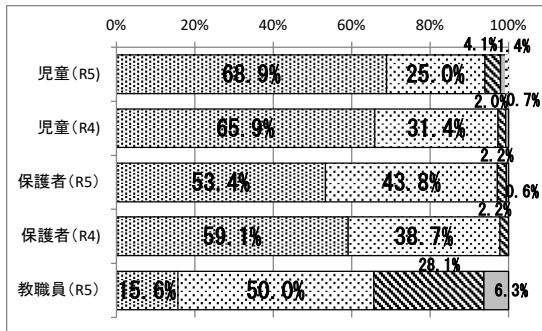
6. 本を読むのが好きである。



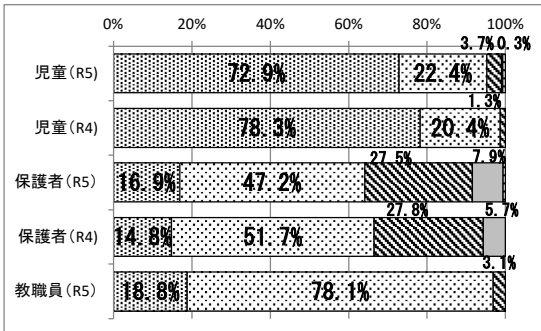
7. 朝ごはんを食べてから登校するなど、毎日規則正しい生活をしている。



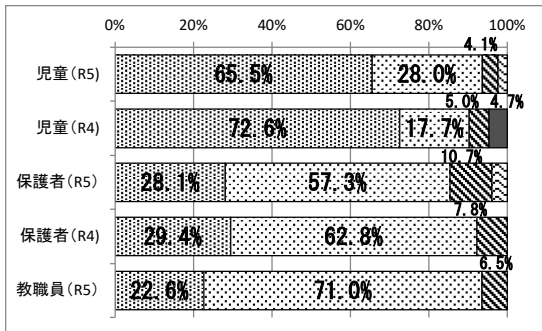
8. 先生や友だち、地域の人に進んであいさつしている。



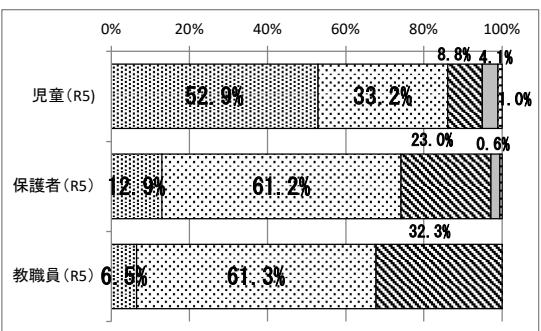
9. 掃除や係、日直や給食当番などの自分の仕事はきちんとやっている（児童、教職員）。
おんさんは、家の手伝い等を進んで行っている（保護者）。



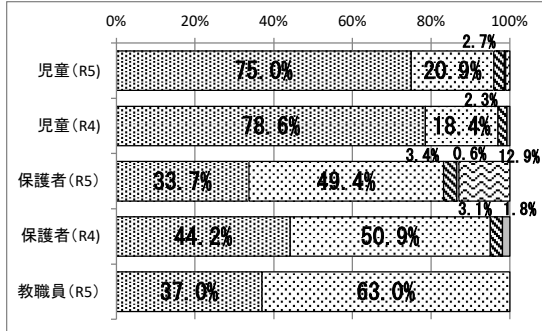
10. 友だちに思いやりをもって接している。



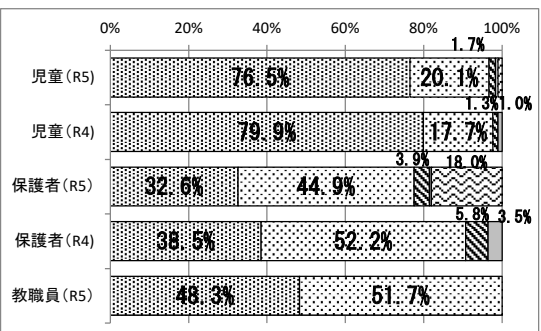
11. (R5新設) 苦手なことやいやなことがあってもあきらめずに最後までがんばれる。



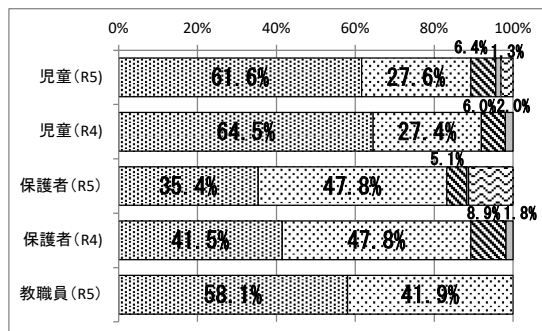
12. 先生はわかりやすい授業を行ってくれる（児童、保護者）。
私は、児童がわかりやすい授業づくりのために授業改善に努めている（教職員）。



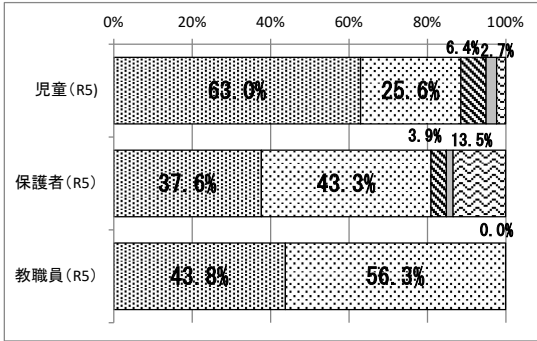
13. 先生は学習でわからないところがあると、丁寧に教えてくれる。



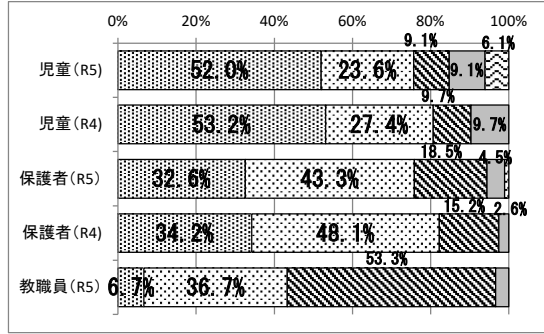
14. 先生は、困ったときなど何でも相談ののってくれる。



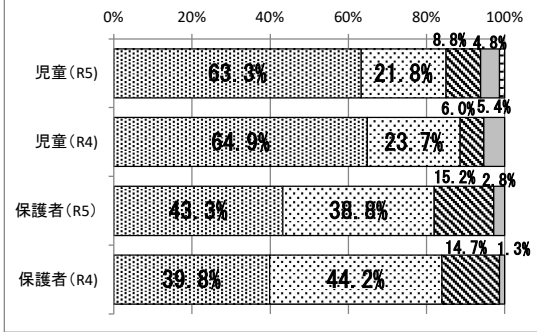
15. (R5新設)担任の先生だけでなく色々な先生が教えてくれたり、相談にのってくれたりしている。



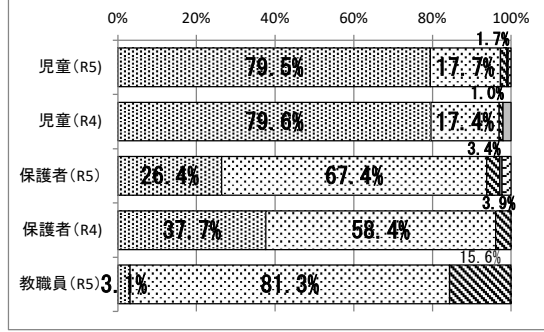
16. テレビやゲームの時間は親子で話し合って決めている。



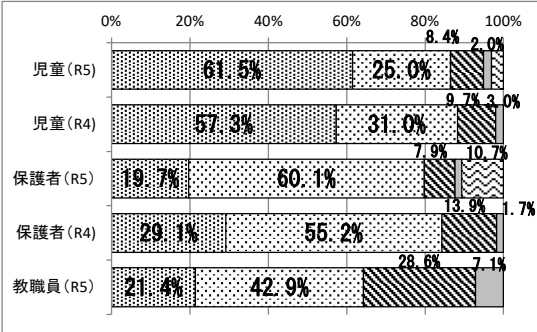
17. 家の人に学校であったことや友だちのことなど、よく話をしている。



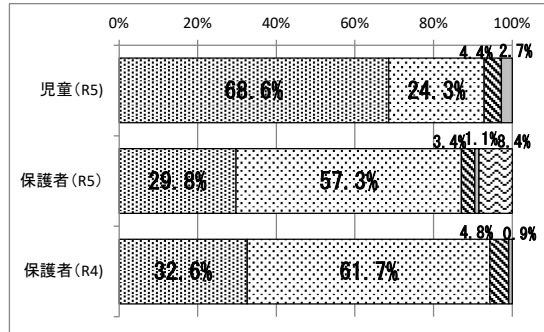
18. 交通ルールやきまりを守ってすごしている。



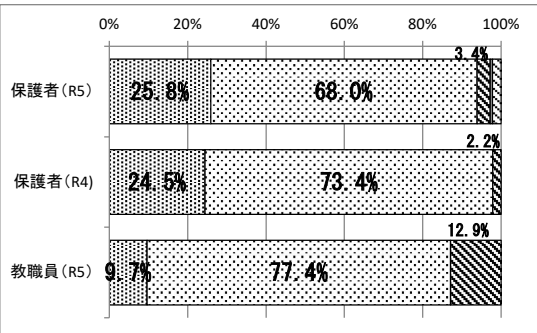
19. 先生は、タブレット (i-Pad) を使った授業を行っている。



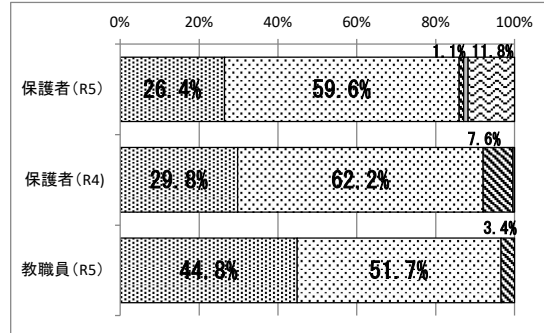
20. 逆井小学校での生活に満足している (R5児童新設)。
本校の教育活動全般について満足している (保護者)。



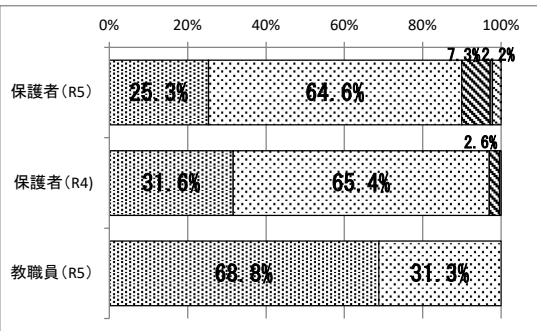
21. 家庭では、学校の教育活動に協力するようにしている (保護者)。
家庭は、学校の教育活動に協力的だ (教職員)。



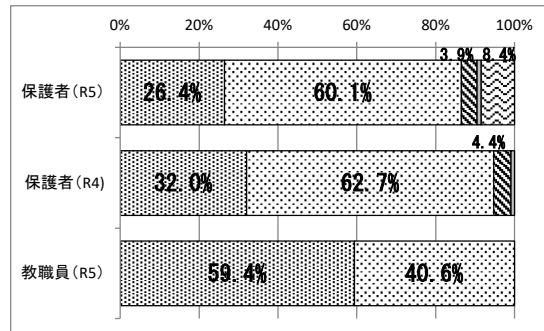
22. 学校は、子ども一人一人を大切に指導している (保護者)。
児童一人一人の思いを大切に学年・学級経営を行っている (教職員)。



23. 学校はHPやメール・学校だより等で教育活動をわかりやすく伝えている。



24. 学校は、地域・保護者と連携して教育活動を行っている。



2.5. 本校をより良くするための意見について（一部となります。ご了承ください）

学習に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを持ち帰って学習できると良いです（複数回答）。 ・障がい福祉教育に力を入れてほしいです。 ・ディベートや発表の機会がもっと多いと嬉しいです（類似意見あり）。 ・地域の方との交流の機会を設けてほしいです。
子どもへの対応に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の状況に応じた対応をしてほしいです（類似意見あり）。 ・言葉遣いに気をつけてほしいです。 ・給食の量を個人にもっと合わせてほしいです。
行事等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙は配付でなく配信にしてほしいです。 ・欠席したときに、その日にどのような授業があったのか教えてほしいです（類似意見あり）。 ・月行事を早めらせてほしいです（類似意見あり）。 ・授業参観と懇談会は同じ日程の方がありがたいです（類似意見あり）。 ・宿泊行事や校外学習などを週末にしてほしいです。
校庭に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具を新しく導入してほしいです。 ・放課後、子どもたちが遊べるように校庭を開放してもらえると良い。
PTA・地域に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの負担が大きいので、業務委託など別の取組を検討してほしいです（類似意見あり）。 ・第3公園交差点の信号機設置を願います。

VI 結果からの考察

- ・質問1「学校に行くのは楽しい」の結果から、概ね子どもたちは学校に行くことを楽しみにしています。一方で、そう思っていない子どもも8%います。
- ・質問5「家では宿題以外の勉強もしている」の結果から、保護者、教職員は、子どもたちに家庭学習（自主学習）の習慣を身につけてほしいと考えていることがわかります。
- ・質問9「自分の仕事はきちんとやっている」の回答から、子どもたちは学校の仕事をしっかり行っていることがわかります。保護者は家の手伝いも頑張してほしいと考えています。
- ・質問14「困ったときに相談にのってくれる」の回答から、多くの子どもたちは、先生は何でも相談にのってくれると考えていますが、そう思わない子どもも7%います。
- ・質問20「逆井小学校での生活に満足している」の回答から、子どもたちも保護者も、概ね逆井小学校での生活に満足していることがわかります。一方でそう思っていない子どもや保護者も一定の割合でいることがわかります。
- ・質問21と24の学校、家庭、地域の連携に関する回答から、多くの保護者が逆井小学校では、地域、家庭と連携しながら教育活動を推進していると考えていることがわかります。
- ・質問23「教育活動をわかりやすく伝えている」の回答から、昨年度よりHPやメール・学校だより等で教育活動をわかりやすく伝えていることに否定的である保護者が増えていることがわかります。

VII 学校運営協議会委員からのご意見

- ・先生方が一つ一つ丁寧に準備され、指導している様子に授業に対する安心を感じました。児童の皆さんも意欲的に取り組んでおり、それが学校評価アンケートにも表れていると感じました。
- ・地域と学校との連携をこれからも進めていきたいと考えます。
- ・「学校に行くのは楽しい」の項目で児童の約8%が「そう思っていない」との結果が出ていますが、それぞれの子どもが持っている得意な分野を引き出して伸ばすことで勉強が楽しくなり、学校が楽しくなるのだと思います。
- ・「宿題は必ずやっている」は児童と教職員の割合の差が大きいです。児童の目標と教職員の目標の違いなのでしょう。
- ・逆井小学校をより良くするための意見はしっかりと逆井小学校のことを考えている証拠だと思えます。できる限り前向きに取り組んでいただきたいし、私たちも協力したいと思います。
- ・最近登校中の子どもたちにあいさつをしたら、次の日からその子どもたちからあいさつしてくれるようになりました。地域の人たちの声かけも必要だと思います。
- ・「本を読むのが好き」と感じている児童が75%もいます。「読む力」は児童の学びを支える大切なスキルだと思います。

VIII 今後の取組について

逆井小学校の子どもたちの多くは「学校に行くことを楽しみ」にしており、「逆井小学校での生活に満足している」ことがわかりました。一方で、「そう思わない」子どもたちもいます。学校教育目標「自分で考え、判断し、行動する逆井っ子の育成」の具現化を目指して引き続き、これまでどおり逆井小学校の教育活動を推進するとともに、一人一人の子どもたちの小さな変化を見逃さないよう、担任を始め、学校の全教職員で逆井小学校の子どもたちを見るという意識をさらに高めていきます。

多くの子どもたちは、「先生がわかりやすい授業をしてくれる、丁寧に教えてくれる」と考えています。引き続き、教職員に丸となってわかりやすい授業づくりに向けた授業改善に努めていきます。そして、確かな知識・技能を子どもたちに定着させ、それらを使って思考・判断・表現できるようにしていくことが大切であると考えます。

あいさつや交通ルールなどの基本的な生活習慣については、家庭・地域とも連携しながら子どもたちに定着させる必要があります。そのためには、学校の情報をホームページや便り等で発信し、学校・家庭・地域が同じ方向で進めるようにしていければと考えます。

今回のアンケートでいただいた意見につきましては、学校内で検討し、でき得るものは来年度以降に取り入れていきたいと考えます。アンケートにご協力いただきありがとうございました。